

電力系統技術委員会の活動

1996年より設置された電力系統技術委員会は、システム工学的な見地から新しい系統現象の解明を推進し、最新のシステム理論を適用することで、電力の経済的かつ安定な供給に役立つ技術を、系統的に調査・研究・教育を行っています。

電力系統技術委員会【PSE：Power Systems Engineering】

委員長：宮内 肇（熊本大学）

電力系統工学に関する系統的な調査・研究活動を実施

活動対象：系統や現象の解析，系統シミュレーション技術，
系統の計画・運用・監視・制御及技術，その他関連する技術

気象情報の利活用に基づく新しい電力系統利用調査専門委員会	電力安定供給を支える電力流通設備計画・運用技術調査専門委員会	給電運用システムの機能調査専門委員会
令和元年10月～令和4年3月予定 委員長：澤敏之（日立製作所） 調査対象： 気象シミュレーション技術の向上、通信速度の高速化あるいは多種大量データ（気象、スマートメータ）を利活用より一層の電力系統の安定運用や経済性向上を目指すことができる環境が整いつつある。より一層の気象情報の利活用、予測精度向上が期待されているため、最新の動向および適用事例等を体系的に纏める。	令和2年5月～令和3年9月予定 委員長：餘利野直人（広島大学） 調査対象： 太陽光発電や風力発電の普及が加速され、現在もなお、その普及が進んでいる。あわせて、間接オークションなど連系線利用に関する制度の見直しや全面自由化などに伴い、電力流通設備の計画および運用業務に必要な検討項目や実施内容が変化している。電力流通設備の計画・運用技術に係わる課題およびその取り組み状況について調査をする。	令和2年6月～令和4年5月予定 委員長：黒木光広（九州電力送配電） 調査対象： 再生可能エネルギー電源の連系増加、電力システム改革の進展に伴う広域需給調整、需給調整市場などに対応する機能が必要となっている。 給電運用システムの現状について、監視・制御などのオンライン業務に関する機能を主として調査をする。

令和3年度の研究会予定

開催年月	開催地	テーマ	主催技術委員会
令和3年3月	沖縄市町村自治会館	未定	電力技術/電力系統技術/半導体電力変換/合同
令和3年5月	未定	未定	新エネルギー・環境技術/高電圧技術/電力系統技術/合同
令和3年9月16,17日	徳島大学	未定	電力技術/電力系統技術/合同
令和4年1月	未定	未定	電力系統技術

電力系統技術委員会に関する問合せ先

電力系統技術委員会 幹事補佐 好井 信博

所属：東京電力パワーグリッド(株) 系統運用部 給電計画G

メールアドレス：yoshii.nobuhiro@tepeco.co.jp